



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3961 URL <https://www.silveregg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) フォーリー 淳子 TEL 06 (6386) 1931
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	787	△15.2	△29	—	△28	—	△22	—
2024年12月期第3四半期	929	△2.2	69	△20.8	69	△20.0	44	△26.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△7.60	—
2024年12月期第3四半期	14.84	14.82

(注) 2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,458	1,404	95.3
2024年12月期	1,521	1,420	92.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,390百万円 2024年12月期 1,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,036	△15.7	△54	—	△52	—	△53	—	△18.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
業績予想の修正については、本日(2025年11月14日)公表いたしました「2025年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	2,976,942株	2024年12月期	2,976,942株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	85株	2024年12月期	85株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	2,976,857株	2024年12月期 3 Q	2,966,867株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く経営環境については、国内の情報通信サービス市場において、企業が収集するあらゆるデジタルデータを活用した業務効率化、サステナビリティ経営の実現に向けたIT環境整備とシステム更新需要が依然として高まっております。また、エンドユーザーとの接点強化など、企業成長と競争力強化を目的とするクラウドサービスや、生成AIなどのテクノロジーに対するIT投資が堅調に推移しており、大企業ではIT投資が実装段階に移行しています。

国内のデジタルマーケティング市場規模は、事業者売上高ベースで2024年に3,672億4,000万円、2025年には前年比14.1%増の4,190億2,000万円（出典：株式会社矢野経済研究所「デジタルマーケティング市場に関する調査（2025年）」（2025年7月18日発表）。注：市場規模はMA、CRM、CDPに関するデジタルマーケティングツールを対象として算出）とされており、当社は大幅な成長を見込んでおります。また、2024年から2028年までの5年間に於いて、年平均成長率（CAGR）は13.8%で推移すると予測（2024年の実績値と2028年の予測値は株式会社矢野経済研究所の上記出典データを採用し、CAGRは当社にて独自に計算）されており、当社が事業を展開している国内のEC市場規模の拡大も継続しております。

当社は、自らをAIクラウド型サービスのリーディングカンパニーと考えており、このような環境下において、当社が果たすべき役割は重要性を増していると考えております。当社の競争優位性は、主要な業界を網羅する顧客行動データの蓄積、独自開発したAI技術、そしてリアルタイム解析エンジンという三位一体の強みによって支えられています。これらの要素を組み合わせることで、模倣困難なAIを利用したレコメンドサービスの提供を実現し、市場における確固たる競争優位性を確立していると考えております。さらに、当社は単にプロダクトを提供するに留まらず、個々の顧客企業の課題を解決すべくカスタマイズされたサービスを展開するとともに、当社のデータサイエンティストとAIが連携してデータ活用をサポートする包括的なソリューション提供体制により、多面的に顧客課題を解決し、価格を超えた付加価値を提供することで、他社との明確な差別化を図っております。

当社は2025年3月に公表した中期経営計画において、「データとAIの融合で業界を変革するAIマッチングソリューションのリーディングカンパニー」となることを長期ビジョンとして掲げております。これは、AIの急速な進化に伴い高まるデータとAIの融合ニーズに対応し、将来の多様なデジタルサービスを支える不可欠な存在となることを目指すものです。

2025年度は「AIマッチングソリューション基盤の拡張」を主要な経営方針とし、当第3四半期累計期間においては、この基盤となる新サービスの開発・リリースを順次進めてまいりました。

2025年9月に、AIパーソナライゼーション・プラットフォーム「Aigent X」に搭載する次世代AI技術「コンテキスト・インテリジェンス」を新たにリリースいたしました。本サービスは、ECやデジタルサービス事業者に対し、従来の購買履歴ベースのパーソナライゼーションでは困難であった「新規顧客への最適なアプローチ」や「多様化する顧客接点における一貫したユーザー体験の提供」といった課題解決に貢献いたします。

また、新領域事業においては、2025年8月に、大規模言語モデル（LLM）を活用した人材発掘AIエージェントサービス「RecoTalent」を正式にリリースいたしました。

本サービスは、第1弾としてソフトウェアエンジニアに特化しており、AIが外部の多様なデータソースを分析し、企業の募集要件に合致する潜在候補者を自動で発掘いたします。さらに、候補者の高精度なランク付け・スコアリングに加え、バイアスを排除した客観的な評価理由を可視化することで、採用の効率と精度の向上を支援するものです。なお、本サービスは2週間の無料トライアルを提供しております。

今後の展開といたしましては、幅広い職種への対応や継続的な機能拡張を予定しており、2025年10月にはメッセージ生成機能の追加を予定しております。これは、AIが求人情報と候補者のプロフィールを分析し、一人ひとりにパーソナライズされたスカウトメールを自動生成するものです。本機能は、ダイレクトリクルーティングにおける採用担当者の業務負担を軽減し、候補者からの返信率向上に貢献いたします。

当第3四半期累計期間の営業収益につきましては787,724千円（前年同期比15.2%減）、営業損失は29,557千円（前年同期は営業利益69,511千円）、経常損失は28,006千円（前年同期は経常利益69,937千円）、四半期純損失は22,638千円（前年同期は四半期純利益44,030千円）となりました。

なお、当社は、レコメンドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ62,986千円減少し、1,458,539千円となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加10,225千円があった一方で、売掛金の減少41,387千円、無形固定資産の減少17,855千円及び投資その他の資産の減少10,644千円があったこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ47,364千円減少し、53,921千円となりました。主な内訳は、未払金の減少30,551千円及び未払法人税等の減少15,945千円があったこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ15,621千円減少し、1,404,618千円となりました。これは新株予約権の増加7,017千円があった一方で、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少22,638千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、最近の動向及び今後の見通し等を勘案し、2025年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2025年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,431	1,189,657
売掛金	180,289	138,902
前払費用	42,337	36,153
未収還付法人税等	—	3,910
貸倒引当金	△189	△151
流動資産合計	1,401,869	1,368,472
固定資産		
有形固定資産	21,721	20,632
無形固定資産	35,969	18,113
投資その他の資産	61,965	51,320
固定資産合計	119,656	90,066
資産合計	1,521,525	1,458,539
負債の部		
流動負債		
未払金	62,516	31,964
未払費用	7,002	4,280
未払法人税等	15,945	—
未払消費税等	4,987	9,090
資産除去債務	3,670	—
その他	7,165	8,585
流動負債合計	101,286	53,921
負債合計	101,286	53,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,772	287,772
資本剰余金	272,535	272,535
利益剰余金	853,107	830,468
自己株式	△193	△193
株主資本合計	1,413,221	1,390,582
新株予約権	7,017	14,035
純資産合計	1,420,239	1,404,618
負債純資産合計	1,521,525	1,458,539

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	929,359	787,724
営業費用	859,848	817,281
営業利益又は営業損失(△)	69,511	△29,557
営業外収益		
受取利息	84	1,529
講演料等収入	100	—
還付加算金	207	—
その他	67	22
営業外収益合計	459	1,551
営業外費用		
為替差損	33	0
営業外費用合計	33	0
経常利益又は経常損失(△)	69,937	△28,006
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	69,937	△28,006
法人税、住民税及び事業税	11,858	532
法人税等調整額	14,049	△5,900
法人税等合計	25,907	△5,367
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,030	△22,638

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	20,833千円	19,713千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、株式会社イルグルムによる当社株券等に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。詳細は2025年11月14日付「株式会社イルグルムによる当社株券等に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照下さい。